

第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改訂版）等の取組状況について

令和7年10月
志布志市総合政策課

- ・国の人口ビジョン「2100」について P 1
- ・「地方創生2.0」の基本的な考え方について P 2
- ・志布志市人口ビジョンと総合戦略について P 2
- ・効果検証について P 3
 - ・主な取組状況と成果等
- ・スケジュールについて P 14

国の人口ビジョン2100

- ・2024年1月に、日本の人口現状と将来の姿を示し、人口減少をめぐる問題に関する国民全体で意識を共有し、官民あわせて取り組むための国家ビジョンが人口戦略会議にて提言された。
- ・人口減少の流れを変えるための①定常化戦略（人口定常化を図る）と、②強靱な戦略（質的な強靱化を図る）を一体的に推進していくことによって、安定的な経済効果が期待される。
- ・2100年に8000万人で人口が定常化することを目標とする。

基本的課題

1 国民の意識の共有

- 人口減少がもたらす「超高齢化」と「果てしない縮小と撤退」など重大な事態

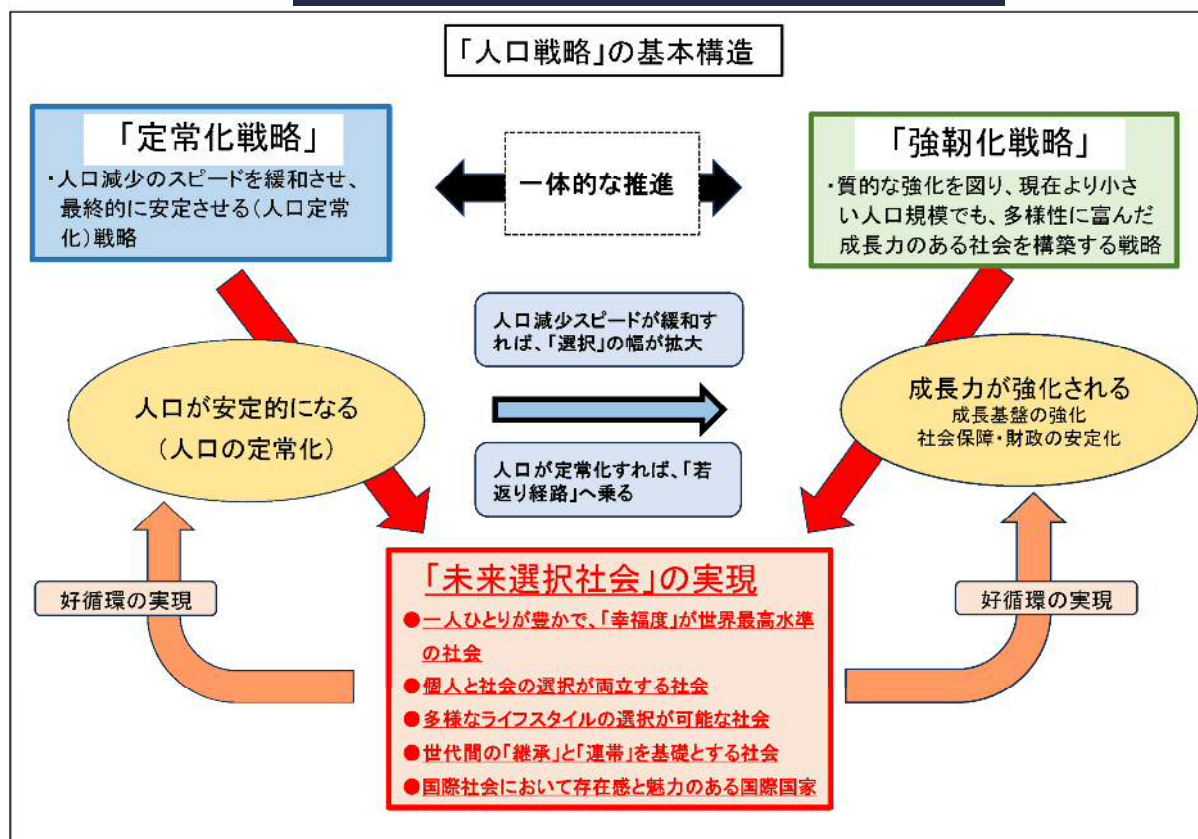
2 若者、特に女性の最重視

- 結婚や子どもを持ちたいという希望実現できるよう、社会環境づくりの推進

3 世代間の継承・連帯 「共同養育社会」づくり

- 社会や地域を将来世代に引き継ぐ（継承）責任
- 「共同養育」の考え方（すべての子どもの出産育児を国や社会が支援する）共同養育社会を目指す

これから取り組むべき「人口戦略」



地方創生2.0の「基本的な考え方」概要

令和6年12月24日
新しい地方経済・生活環境創生本部決定

◆地方創生2.0の基本構想の5本柱 ※考えられる各省の施策項目を列挙。基本構想に向けて具体化

○以下の5本柱に沿った政策体系を検討し、来年夏に、今後10年間集中的に取り組む基本構想を取りまとめる

①安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生

- 魅力ある働き方、職場づくり、人づくりを起点とした社会の変革により、楽しく働き、楽しく暮らせる場所として、「若者・女性にも選ばれる地方（＝楽しい地方）」をつくる
- 年齢を問わず誰もが安心して暮らせるよう、地域のコミュニティ、日常生活に不可欠なサービスを維持
- 災害から地方を守るための事前防災、危機管理

②東京一極集中のリスクに対応した人や企業の地方分散

- 分散型国づくりの観点から、企業や大学の地方分散や政府機関等の移転などに取り組む
- 地方への移住や企業移転、関係人口の増加など人の流れを創り、過度な東京一極集中の弊害を是正

③付加価値創出型の新しい地方経済の創生

- 農林水産業や観光産業を高付加価値化し、自然や文化・芸術など地域資源を最大活用した高付加価値型の産業・事業を創出
- 内外から地方への投融資促進
- 地方起点で成長し、ヒト・モノ・金・情報の流れをつくるエコシステムを形成

④デジタル・新技術の徹底活用

- ブロックチェーン、DX・GXの面的展開などデジタル・新技術を活用した付加価値創出など地方経済の活性化、オンライン診療、オンデマンド交通、ドローン配送や「情報格差ゼロ」の地方の創出など、地方におけるデジタルライフラインやサイバーセキュリティを含むデジタル基盤の構築を支援し、生活環境の改善につなげる
- デジタル技術の活用や地方の課題を起点とする規制・制度改革を大胆に進める

⑤「産官学金労言」の連携など、国民的な機運の向上

- 地域で知恵を出し合い、地域自らが考え、行動を起こすための合意形成に努める取組を進める
- 地方と都市の間で、また地域の内外で人材をシェアする流れをつくる

◆基本構想の策定に向けた国民的な議論の喚起

- 地方の現場をできるだけ訪問・視察し、意見交換を幅広く重ね、地方の意見を直接くみ取り、今後の施策に活かす
- 有識者会議でテーマごとに地方の現場で地方創生に取り組む関係者のヒアリングや現地視察を行い意見を直接くみ取る

志布志市「人口ビジョン」及び「総合戦略」



志布志市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

視点1 若年・女性から選ばれるまちづくり

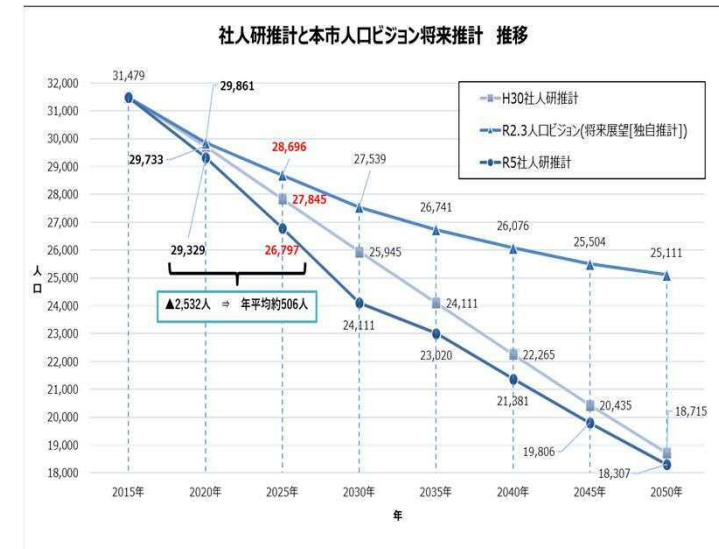
進学等による都市部の流出が要因となっていることから、これらの世代に選ばれるまちづくりを実践し、本市への人の流れを促進し、人口維持を図る。

視点2 結婚・出産・子育て・教育の希望の実現

安心して結婚し、子どもを産み育てることができる環境を整えることにより、特に若い世代において、結婚・出産・子育ての希望を実現し、将来的な出生率の維持を図り人口構造の安定を図る。

視点3 地域課題の解決と住民満足度向上

デジタルの力を活用しながら、本市の抱える人口減少に伴う課題等の解決を図るとともに、暮らしやすいと感じられるようなまちの基盤を維持・確保しつつ、人々が訪れたい、住み続けたいと思える地域づくりを通じ、まちの魅力を高める。



<人口の将来展望>

令和8年度に

目標人口28,500人程度

の人口を維持する

第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2022年度～2026年度）

- ・人口ビジョンで示した目指すべき将来の方向性を踏まえ、本市の様々な問題の大きな要因となる人口減少問題を克服するために策定
- ・国及び県の第2期総合戦略を踏まえ、4つの基本目標を設定
※本戦略の基本目標は、総合振興計画の中では重点プロジェクトとして位置付け

基本目標1 稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする

基本目標2 ひとや企業とのつながりを築く

基本目標3 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

基本目標4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる

まち・ひと・しごと創生総合戦略 効果検証（R6総括）

| 基本目標 | 指標数 (事業数) | 主な事業 |
|-------------------------------------|--------------|--|
| 基本目標 1 稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする | 8 (35) | <ul style="list-style-type: none"> ・特産品振興事業 ・森林病虫害等駆除事業 ・販路拡大支援事業 ・さんふらわあ志布志航路利用促進協議会補助金 |
| 基本目標 2 ひとや企業とのつながりを築く | 9 (25) | <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアリーダークラブ・インリーダークラブ支援事業 ・観光特産品協会運営事業 ・ふるさと納税推進事業 ・景観政策推進事業 |
| 基本目標 3 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる | 11 (30) | <ul style="list-style-type: none"> ・出産・子育て応援交付金事業 ・デジタル教科書導入事業 ・保育所運営事業 ・子育て世代包括支援センター事業 |
| 基本目標 4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる | 16 (43) | <ul style="list-style-type: none"> ・志布志麓庭園整備事業 ・地方公共交通対策事業 ・消防団活動支援事業 ・市道維持補修事業 |
| 合 計 | 44 (133) | |

数値目標

- ・目標達成した数値目標はないものの、「目標達成に至らないが十分効果が発現している」B評価が1割、「目標達成に至らないが多少効果が発現している」C評価が6割を占めており、ある程度地方創生に効果があったと評価ができると考えられる。一方で、「目標達成に向けた効果が発現していない」D評価が1割あることを踏まえると、数値目標を達成するために、各事業の取組等について再検討する必要があることが伺える。
- ・今後は、目標達成あるいは目標達成見込となる評価が増えるように、各課において目標達成に向けた事業展開が望まれる。

| | A 評価 | B 評価 | C 評価 | D 評価 | E 評価 |
|--------|------|------|------|------|------|
| 基本目標 1 | | | 2 | | |
| 基本目標 2 | | 1 | | 1 | |
| 基本目標 3 | | | 1 | | 2 |
| 基本目標 4 | | | 3 | | |
| 計 | 0 | 1 | 6 | 1 | 2 |

※数値目標の単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、一部評価が異なる場合があります。

R6主な取組状況と成果等（基本目標1）

～稼ぐ志布志をつくるとともに、安心して働けるようにする～

農林水産業の成長産業化

○茶業振興事業補助金事業

しぶし茶のブランド確立を推進するため、全国及び県茶品評会への出品者を支援



企業誘致

○企業立地促進補助金等交付事業

雇用・就労の場を確保し、産業振興と雇用機会の拡大を図るため、立地企業等へ補助金を支援



志布志港輸出拡大

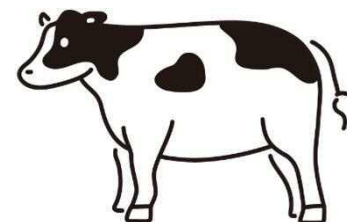
○輸出促進支援・志布志港PR活動事業
海外見本市への出展、商談会、市場調査等に係る費用の支援



新規就農総合支援

○新規就農支援事業

新規就農者育成総合対策の対象とされない者に1回に限り50万円を交付



事業評価

- ・基本目標 1 は、6 つのプロジェクトから構成されている。
- ・6 つのプロジェクト全35事業の評価について、A 評価から C 評価が全体の約97%を占め、地方創生に効果的であったと評価することができる。

| A評価 | B評価 | C評価 | D評価 | E評価 | F評価 | G評価 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2 | 8 | 24 | 0 | 1 | 0 | 0 |

重要業績評価指数（KPI）

- ・重要業績評価指数（K P I）については、「目標達成に至らないが十分又は多少効果が発現している評価が約 8 割であるが、効果が発現していない評価も約 2 割を占めるため、引き続き目標達成に向け取り組んでいくことが望まれる。

| S評価 | A評価 | B評価 | C評価 | D評価 | E評価 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 0 | 3 | 2 | 1 | 0 |

※事業評価、K P I は単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、単独評価と一部異なる場合があります。

R6主な取組状況と成果等（基本目標2）

～ひとや企業とのつながりを築く～

官民連携推進

○地域活性化企業人制度負担金
民間企業等の社員を一定期間受け入れ、地域の活性化と地域課題の解決を図る。



(株)KDDI から活性化企業人受入

移住定着拡充

○定住交流促進事業
自ら居住する住宅を取得する者に取得に係る経費を支援し、定住を促進する。



関係人口創出・拡大

○移住・交流業務委託事業
移住から定着までのニーズに対応するため、ワンストップで支援する相談拠点を設置し、移住・交流の推進を図る。



都市住民向けPR

○情報発信事業
SNSを活用し、本市の魅力や市民生活に役立つ情報を戦略的かつ効果的に発信



事業評価

- ・基本目標 2 は、5 つのプロジェクトから構成されている。
- ・5 つのプロジェクト全25事業の評価について、A 評価から C 評価が全体の90%を占め、地方創生に効果的であったと評価することができる。一方で D 評価については、目指す指標を上回るように事業展開の検討の必要性があると伺える。

| A評価 | B評価 | C評価 | D評価 | E評価 | F評価 | G評価 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 2 | 21 | 1 | 1 | 0 | 0 |

重要業績評価指数（KPI）

- ・重要業績評価指数（K P I）については、目標達成には至らないが、効果が発現している K P I もある一方、効果が発現していない K P I があるため、引き続き目標達成に向け取り組んでいくことが望まれる。

| S評価 | A評価 | B評価 | C評価 | D評価 | E評価 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 1 | 1 | 3 | 2 | 2 |

※事業評価、K P I は単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、単独評価と一部異なる場合があります。

R6主な取組状況と成果等（基本目標3）

～結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる～

結婚支援

○地域少子化対策重点推進事業

39歳以下の方が結婚を機に住宅を購入または賃貸した場合に補助金を交付し、若年層移住と婚姻の促進を図る。



仕事子育て両立支援

○ダイバーシティ推進事業

ワーク・ライフ・バランスの推進と働きやすい職場環境の整備促進を図る。



子育て支援

○保育所運営事業

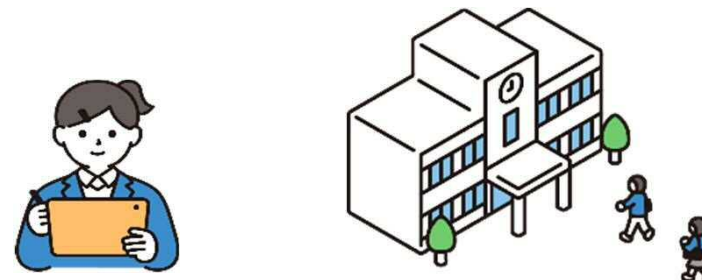
保育所・認定こども園に対し支援を行うことで、子育て支援施設の整備及び充実を図る。



こころざしアップ教育推進

○土曜学習教室事業（志学教室）

中学生を対象に外部講師による学習講座を開講し、学力向上やグローバルな人材育成を目指す。



事業評価

・基本目標3は、5つのプロジェクトから構成されている。

5つのプロジェクト全30事業の評価について、A評価からC評価が全体の100%を占め、地方創生に効果的であったと評価することができる。今後は、A評価に近づけるよう事業を推進していくことが望まれる。

| A評価 | B評価 | C評価 | D評価 | E評価 | F評価 | G評価 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 4 | 15 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 |

重要業績評価指数（KPI）

・重要業績評価指数（K P I）については、効果が発現していないK P Iがあるため、引き続き目標達成に向け取り組んでいくことが望まれる。

| S評価 | A評価 | B評価 | C評価 | D評価 | E評価 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 2 | 0 | 4 | 4 | 1 | 0 |

※事業評価、K P Iは単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、単独評価と一部異なる場合があります。

R6主な取組状況と成果等（基本目標4）

～魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる～

鹿児島県
志布志市
SHIBUSHI
SAGASHIMA, JAPAN



快適な生活支援

○地域コミュニティ協議会形成・活動促進事業
校区公民館組織を軸に地域コミュニティ協議会の設立を推進し、共生・協働による地域づくりを実践する。



観光パワーアップ

○スポーツ合宿誘致事業
魅力的なまちをつくるため、スポーツ合宿受入の拡大と施設・環境整備を推進する。



環境にやさしいまちの推進

○循環センター事業
脱炭素社会の実現に向けた取組として、ごみの再資源化の推進を図るため、環境整備を行う。



商工業賑わい創出

○商工業支援制度事業
商工会の会員が制度資金を借り入れた場合に利子補給を行い、地域経済の維持と発展を図るための支援を行う。

事業評価

・基本目標4は、8つのプロジェクトから構成されている。

8つのプロジェクト全43事業の評価について、A評価からC評価が全体の約80%を占め、地方創生に効果的であったと評価することができる。D評価、E評価については、目指す指標を上回るように事業展開の検討の必要性があるといえる。

| A評価 | B評価 | C評価 | D評価 | E評価 | F評価 | G評価 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 3 | 8 | 30 | 1 | 1 | 0 | 0 |

重要業績評価指数（KPI）

・重要業績評価指数（KPI）については、目標達成に至らないが効果が発現しているKPIが約8割を占める一方、効果が発現していないKPIが1割あるため、引き続き目標達成に向け取り組んでいくことが望まれる。

| S評価 | A評価 | B評価 | C評価 | D評価 | E評価 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 0 | 1 | 2 | 7 | 4 | 2 |

※事業評価、KPIは単独評価ではなく、プロジェクト毎の評価ですので、単独評価と一部異なる場合があります。

スケジュールについて

